



〔対象〕

小・中学校、
特別支援学校
の教員

受付期間

2026年 2026年
8月1日^土～9月2日^水
15時 送信完了分まで

助成

入選者
10万円

全応募者に審査講評と
ソニー製品等を贈呈

後援



文部科学省

2026年度 ソニー子ども科学教育プログラム

未来へつなぐ 教育計画募集

「課題にもとづいた教育方針と実行計画」を
論文にまとめて応募してみませんか（全教科等対象）

未来を担う子どもたちに必要な資質や能力を考え、日頃から指導の改善や創意工夫を行っている先生方のこれからの教育方針と実行計画をテンプレートに沿ってまとめた論文を募集しています。

テ ー マ	「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」	
対 象	国・公・私立の小学校、中学校、特別支援学校の教員（管理職可）	
内 容	課題にもとづいた教育方針と実行計画	
受 付 期 間	2026年 8月1日（土）～2026年 9月2日（水）15時 送信完了分まで	
応 募 方 法	ソニー教育財団ウェブサイトの専用応募フォームから送信	
助 成 内 容	〔入選者〕10万円とソニー製品等	
入 選 発 表	2027年 1月中旬以降 当財団ウェブサイトにて発表予定	

審査委員会	〔審査委員長〕 杉野 剛	独立行政法人日本学術振興会 理事長
	〔審査委員〕 清原 洋一	学校法人秀明学園 秀明大学 教授
	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事
	手代木 英彦	ソニーグループ株式会社 社友
	山下 修一	国立大学法人千葉大学 教授



公益財団法人
ソニー教育財団

募集内容

- テーマ | 「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」
- 内容 | 課題にもとづいた教育方針と実行計画(全教科等 ※教育課程内の活動)
- 課題 | これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していこうとするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と実行計画について提案してください。

助成内容

＼ 審査講評とソニー製品等を全応募者へ贈呈 /

👑 入選者

- 研究助成金 **10万円** 使用用途の指定はありません
- ソニー製品等

全応募者

- ソニー製品等

審査

審査の観点

① 育てるべき資質や能力

明確性、必然性、こだわり(信念、想い)など

未来を担う子どもたちに必要と考える資質や能力についてその必要性を踏まえて自分なりの設定がされている。

② 子どもたちの現状

客観的分析、裏付けとなる情報とその信憑性など

子どもたちの状況、学習レベルなどを客観的に把握し、確かな情報を基に子どもたちの現状が述べられている。

③ 教育支援の方針

妥当性、必然性、将来性、着眼点など

現在の状況を踏まえ、過去の実践経験や知見(失敗)なども加えて、教育支援の方針が述べられている。

④ **来年度以降**の実行計画と準備状況

実現性、継続性、具体性、新規性、汎用性など

③で述べた方向性をもとに、具体的な実行や行動に落とし込み、来年度以降の実行計画と準備状況が述べられている。「いつ、何を、どのように行うのか」

審査委員会

- 審査委員長 杉野 剛 独立行政法人日本学術振興会 理事長
- 審査委員 清原 洋一 学校法人秀明学園 秀明大学 教授
- 50音順 熊平 美香 一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事
- 手代木 英彦 ソニーグループ株式会社 社友
- 山下 修一 国立大学法人千葉大学 教授

募集要領

受付期間	2026年8月1日(土)～2026年9月2日(水) 15時 送信完了分まで
応募資格	国・公・私立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の教員(管理職可) <ul style="list-style-type: none">・1校から複数名の応募可。ただし類似する内容は不可。・ソニー子ども科学教育プログラム「教育実践論文」へ応募した研究代表者は、同年度の「未来へつなぐ教育計画」へは応募できません。
応募方法	Web応募(詳細は本紙裏面に記載)
入選発表	2027年1月中旬以降 ソニー教育財団ウェブサイトにて発表予定
成果発表	入選者には以下の成果発表を行っていただきます。 <ul style="list-style-type: none">●論文の全文公開(写真を含む)●提案した計画(もしくはその一部)を実行し、2027年度「子ども科学教育研究全国大会」のポスターセッションにて成果(経過)発表

作成規定

- ・すでに他で発表している論文と概ね同じ記述の論文は、審査対象外です。
- ・本文中の図表などで読み取れないもの(サイズが小さい、画像が不鮮明等)は、審査対象外です。
- ・論文以外の参考データ(動画等)は受け付けません。

当財団ウェブサイトよりテンプレートをダウンロードし下記①～④の項目をまとめてください

A4

A4判
10ページ以内

①

育てるべき
資質や能力

1ページ程度

+

②

子どもたち
の現状

1～2ページ
程度

+

③

教育支援の
方針

2～3ページ
程度

+

④

来年度以降の
実行計画と
準備状況

3～4ページ
程度

- 【ページ数】 合計10ページ以内
- 【文字サイズ】 【本文】10.5ポイント以上
【図表】8ポイント以上
- 【図表】 本文を補完するものに限る
- 【参考・引用文献】 本文中に明記



論文は公開することがあるため、個人情報の取扱い、著作権侵害、捏造や改ざん、社会への影響など倫理面への配慮をお願いします。

テンプレート

docxとPDFの2種類です
使いやすい方をご利用ください

ダウンロードは
こちらから



<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

ご応募いただく論文および関連情報について、以下の点をあらかじめご理解・ご了承の上、ご応募ください。

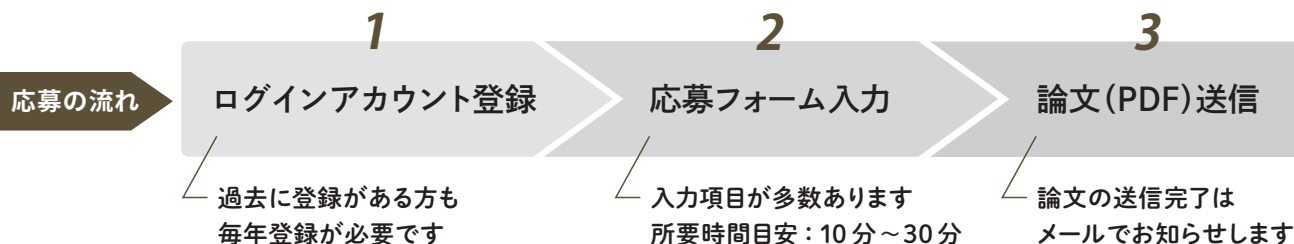
論文、学校名、所在地、研究内容などの関連情報は、当財団が、成果の還元、普及や、広報活動のために使用、公開させていただきます。論文を本プログラム以外で使用、公開、出版、掲載等することを希望される場合には、事前に当財団にご連絡の上、許可を得ていただきます。応募情報(論文含む)は、当財団が、本プログラムに関する審査結果の通知、各種行事の案内、その他の連絡・確認のために使用させていただきます。ご応募いただく論文は、関連するすべての権利(本文および使用された写真等にかかる著作権、ならびに上記の当財団による使用等を許諾する権利を含むがこれに限らない)を、応募者が保有しているものに限りします。

Web応募方法

締切は2026年9月2日(水)15時送信完了分まで /

ソニー教育財団の論文応募サイト(<https://www.sony-ef.or.jp/>)よりご応募ください。
ご応募にはログインアカウントの登録が必要です。

2026年8月1日
受付開始



趣旨

現在日本は、経済のグローバル化や人工知能の進化、そして少子高齢化など、様々な急速な社会的変化に直面しています。さらに、より高度な情報・知識に基づく多様で高い付加価値の提供が求められる社会状況の中で、子どもたちが生き抜き、人生を切り拓いていくために求められる資質や能力を育むことはとても重要です。教育課程においてその資質や能力を育むことに積極的に取り組んでいる先生を応援します。

2025年度入選者

風間貴大	さいたま市立大宮国際中等教育学校（埼玉県）
神原真人	旭市立飯岡中学校（千葉県）
寺尾志穂	横浜市立本郷特別支援学校（神奈川県）
金子紅里	国立大学法人新潟大学附属新潟小学校（新潟県）
今井奈奈	田上町立田上中学校（新潟県）
都築卓朗	刈谷市立朝日中学校（愛知県）
前田昌志	松阪市立米ノ庄小学校（三重県）
西澤寛奈	京都市立朱雀第二小学校（京都府）
藤本幸弥	国立大学法人熊本大学教育学部附属中学校（熊本県）
杉田浩子	宮崎市立清武小学校（宮崎県）

(敬称略)

ソニー教育財団について

— 学校・園の先生を応援しています —

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がりました。井深の志を受け継ぐ事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、65年以上続く論文事業の他、優れた教育・保育実践の公開や発信、未来志向の教員・保育者向け研修会、子どもに科学の原理を伝える「ものづくり教室」など、教育現場と未来を生きる子どもたちを支援するさまざまな活動を行っています。

